

I 食と緑の尾張地域レポート 作成の趣旨

尾張地域は、名古屋市及びその近郊の 18 市町からなり、愛知県人口の 6 割弱を占める都市地域です。この大消費地を擁する地理的条件を生かした農業生産地として、古くから米や野菜の栽培が盛んである他、果樹、花きなど、多種多様な品目が生産されています。また、主な林産物にはシイタケ、水産物にはアユ、サツキマスもあります。

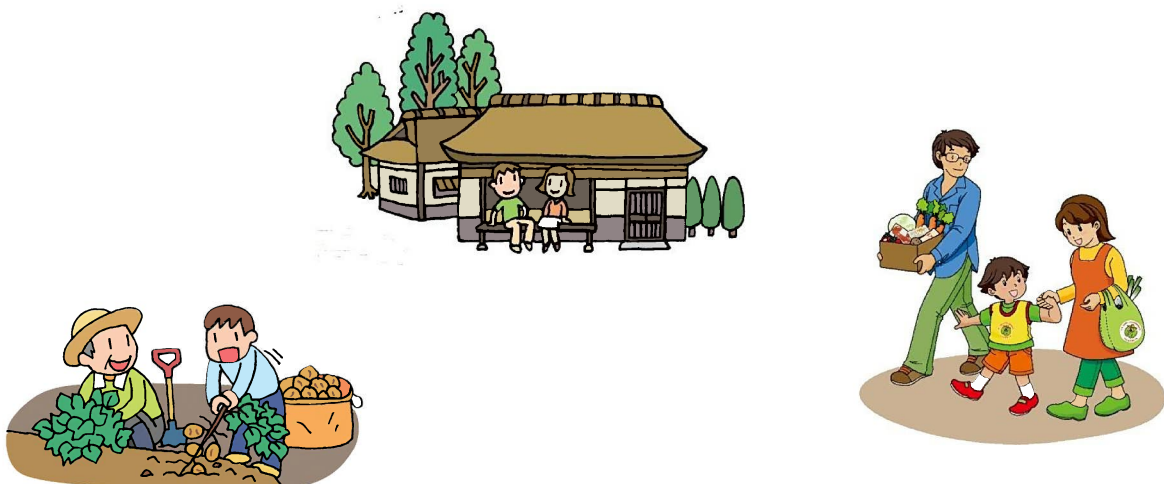
しかし、近年は、宅地等への転用による農地の減少、担い手の不足や高齢化等による耕作放棄地の増加に加えて、販売価格の低迷や生産資材価格の高止まりなどにより農業所得は総じて減少しており、都市農業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

また、集中豪雨や大規模地震等の発生が危惧される中、農地や森林が持つ防災機能を高める取組がますます重要になっています。

こうした地域の特徴と課題を踏まえ、「食と緑の基本計画 2020」の推進にあたり尾張地域において重点的に取り組む事項を定めた実践計画として、平成 28 年 3 月に「食と緑の基本計画 2020 尾張地域推進プラン」を作成しました。

このプランでは、「あいちの農業 元気な担い手の確保・育成プロジェクト」、「地元応援プロジェクト」、「県民の命を守る防災・減災対策プロジェクト」と 3 つの重点プロジェクトを設定し、尾張地域においての最優先課題に取り組むとともに、供給、消費、環境を 3 つの柱として、新規就農者の確保・育成、地産地消の推進、農地や農業水利施設及び治山施設の整備など、さまざまな施策を計画的に実施することとしています。

当レポートは、5 か年の計画の 2 年目である平成 29 年度(2017 年)に取り組んだ事例を重点プロジェクト及び 12 の施策目標ごとに取りまとめたものです。



Ⅱ 平成 29 年度の重点的な取組

尾張地域推進プラン体系

策定年月 : 平成 28 年 3 月

目標年度 : 2020 年度(平成 32 年度)

食と緑が支える
県民の豊かな暮らし

1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

- (1) 本県の強みを生かした技術による品質や生産性の向上
- (2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大
- (3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現
- (4) 食品の安全・安心の確保と環境への配慮

2 農林水産業への理解の促進と食料等の適切な消費の実践

- (1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進
- (2) 食育の推進による健全な食生活の実践

3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

- (1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保
- (2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮
- (3) 農林水産業を核とした元気な地域づくり

尾張地域の重点プロジェクト

- 1 あいちの農業 元気な担い手の確保・育成プロジェクト
 - (1) 多様な担い手の確保・育成
 - (2) 水田農業の維持・発展
 - (3) 園芸産地のパワーアップ
- 2 地元応援プロジェクト
 - (1) 都市農業の推進
 - (2) 直売所の地域交流拠点化
 - (3) 地産地消・ブランド力の強化
- 3 県民の命を守る防災・減災対策プロジェクト